

「ちょびっと体操®」が 特許庁より商標登録されました。

北海道医療大学病院リハビリテーション科で考案した「ちょびっと体操®」が、特許庁より商標登録されました。「ちょびっと体操®」は「縮む」と「伸びる」動作を組み合わせた体操で、少し(=ちょびっと:北海道で親しみのある表現)の時間と頑張りでストレッチと筋力効果を生み出します。まずは、高齢者の健康増進と介護予防を中心に、さらにスポーツ選手のパフォーマンスの向上と子供たちの姿勢改善を目的に「ちょびっと体操®」を広める活動を行います。

先日、大学の在学生の協力のもと、動画を撮影しました。大学の公式YouTubeチャンネルにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。

「ちょびっと体操®」に関する講演会や研修会などのご要望がある場合は、お気軽に下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

北海道医療大学病院リハビリテーション科

TEL:011-778-7575 / Email:y-kataoka@hoku-iryo-u.ac.jp

(理学療法士 片岡 義明)



「ちょびっと体操®」
YouTube動画は
こちらから



本学における多職種連携教育の取り組みに 関する発表が学会賞を受賞しました。

2020年10月10日(土)、全学教育推進センター(心理学部併任)の安部博史教授が、第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会において、「いいね賞(学会参加者が選ぶ最優秀演題賞)」を受賞しました。

日本保健医療福祉連携教育学会は、「保健・医療・福祉各分野の連携に基づく教育・研究と実践を推進し、我が国における健康で豊かな長寿社会の発展に寄与するとともに、会員相互の資質の向上と交流を図ることを目的(会則 第3条)」とした学会で、日本国内における多職種連携教育・チーム医療に関する教育・研究において中心的な役割を果たしています。

安部教授は、新型コロナウイルスで遠隔講義を余儀なくされた状況下において、オンデマンド教材を中心とした多職種連携教育を提案し、同内容を「全学的な多職種連携科目におけるICTの利用」というタイトルで発表しました。

安部教授は「本学の「チーム医療教育」および「多職種連携教育」への取り組みが、専門家の皆様から一定の評価を得たことを大変嬉しく光栄に受け止めております。今後もより一層、様々な専門職業人を養成する本学の総合系医療大学としての特色を生かし、多職種連携教育の推進に取り組み、地域社会および学生の皆様のニーズに応えられるよう努力してまいります」と話しています。



令和2年度北海道福祉のまちづくり賞で オープンカレッジ準備委員会が表彰されました。

令和2年度北海道福祉のまちづくり賞の「活動部門」において、本学オープンカレッジ準備委員会が受賞し、2020年10月23日(金)、ホテルポールスター札幌にて表彰式が行われました。

今回受賞した「オープンカレッジ in 北海道医療大学」は、学校を卒業した知的障がい者の「もっと勉強したい!」という思いに応え、生涯学習の機会として2003年から開催しています。運営スタッフや学習サポーターとして多くの学生が参加しているほか、地域で活動している方も講師として参加しており、地域ぐるみで活動を展開していることなどが総合的に評価されました。

当日は、オープンカレッジ準備委員会代表の看護福祉学部臨床福祉学科第3学年の杉本亜美さんが出席し、賞状が授与されました。



EDITOR'S NOTE

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

令和2(2020)年度は学位記・卒業証書授与式を執り行うことができたが、学生生活最後の1年を新型コロナウイルス感染症でふりまわされた大変な学生生活であったことと思います。毎日の体温チェックや健康管理記録はもちろんですが、以前では考えられなかったリモート形式での授業や演習などがあたりまえになりました。教職員も会議はもちろん研修会、学会もリモート形式でオンライン、テレワークといったことも普通に行われるようになりました。多分、この新しい生活様式はコロナ禍が落ち着いてもある程度は残り、これからの社会生活へ大きく変化を及ぼすことでしょう。学ぶことも数多くありました。「ウイルス」とは、その感染はどのようにして行われるのか、さらにその対策はどうすればよいか、大学での講義や実習で学ぶ以上に、嫌というほど知識や技能が身についたことと思います。これから医療人として社会へ出てからは、先頭に立って身につけた知識と技能を思う存分発揮してください。新型コロナウイルスのワクチン接種などの仕事も始まります。学んだことを糧として、変化する時代へ柔軟に対応し、新しい知識・技術を吸収してください。そしてさらにプロフェSSIONALとして社会へ還元してください。大学の評価は卒業生の活躍で決まります。ひとりひとりが北海道医療大学を卒業したという誇りと自信をもって世の中に貢献してほしいと強く願います。医療人として社会にはばたき活躍されることを祈念いたします。(T.E記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.176

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘
八木 ことえ 下山美由紀 真島 理恵 澤田 篤史
児玉 壮志 下村 敦司 近藤 啓 高橋 祐輔
山形 摩紗 三浦 清志 三川 清輝 近田 卓哉

発行日 ● 2021年3月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

TEL:0133-22-2113

http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail:nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。